

LEARN THE BASICS

基礎を学びましょう

*All you need to know as
a beginner. Learn the
techniques you will use in
your project.*

we are knitters

日本語

ビデオチュートリアル

私たちのウェブサイト(www.weareknitters.jp)では 編み方の方法、コツやアドバイスなどビデオチュートリアルを通して編み方の基礎を学ぶことができます。みなさんが編んでいる過程や完成した作品はハッシュタグ#weareknittersを使って ぜひシェアしてくださいね!



チュートリアル
ビデオを見る

インデックス

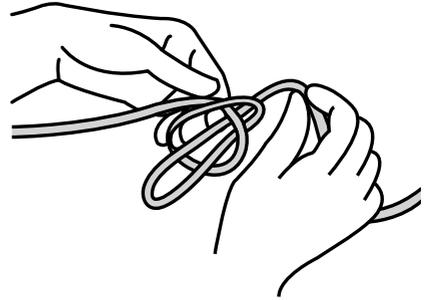
	棒針で編む
4	作り目
6	表目
7	裏目
8	すべり目
9	伏せ止め
10	毛糸玉を変える

	かぎ針で編む
<u>12</u>	くさり目
<u>13</u>	引き抜き編み
<u>14</u>	細編み
<u>16</u>	中長編み
<u>18</u>	長編み
<u>20</u>	長々編み
<u>22</u>	1目増し目
<u>23</u>	2目増し目
<u>24</u>	減らし目

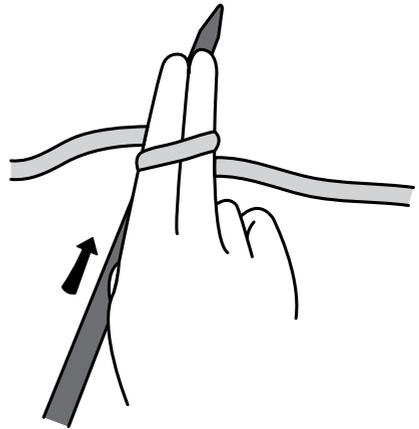
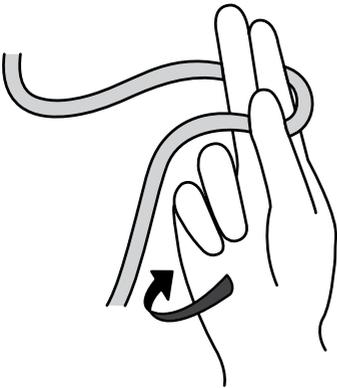
▶ 作り目

編み始めの作り目にはまず作りたい編み地の3倍の長さの糸が必要です。編み地の幅が20センチの場合は約60センチの糸を多くとっておきます。

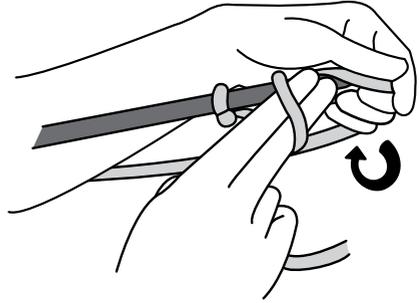
①イラストのように結び目を作ります。結び目に針を通して糸を引いて輪を縮めます。この時締めすぎないように、また反対にゆるすぎないように気をつけます。毛糸玉から出ている糸を右手に、もう一本の糸を左手におきます。



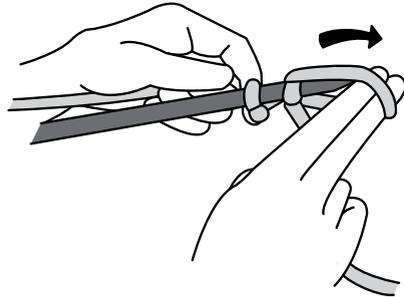
②右手で輪を作り、針に通します。



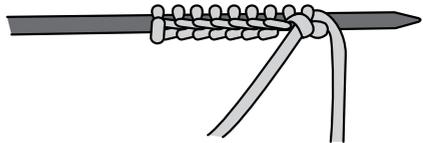
③左手にある毛糸を時計回りに針にかけます。



④右手の輪を針にかけます。ここで2目めができました。軽く両糸を引き締めます。



⑤②から④までの手順を繰り返し、希望の数の作り目を作ります。



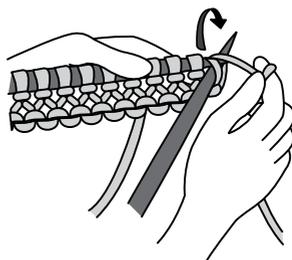
▶ 表目

棒編みで最初に覚えなくてはならない編み方が、編み方の基本になる表目編みです。

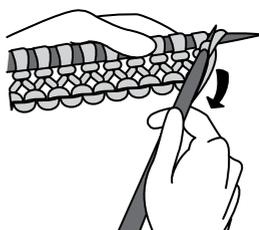
①左手で編み目がある棒針をしっかりと押さえます。右針をイラストにあるように最初の目の真ん中に入れます。



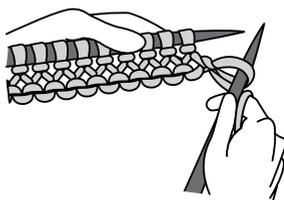
②針に時計回りに糸をかけます。



③右針を使って、かかっている糸を左針の目をくぐって手前に引き出します。



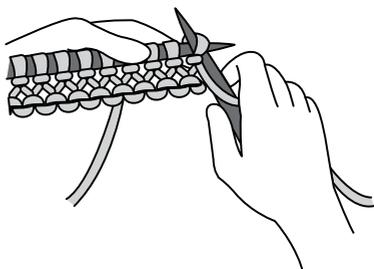
④目を左針から外し、右針に移し写真のようになります。この手順を繰り返し段を終わります。



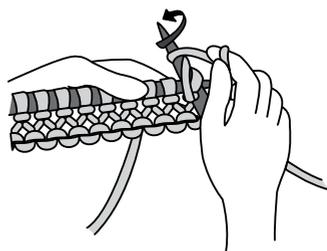
▶ 裏目

日本語

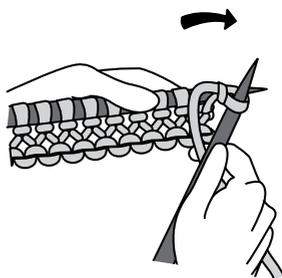
①左手で編み目がある棒針をしっかりと押さえます。糸を針の手前に渡します。イラストのように右針を左針の手前で最初の目の真ん中に入れます。



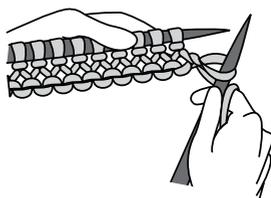
②右手で反時計回りに糸を右針にかけます。



③右針を使ってかかっている糸を左針の目をくぐって向こう側へ引き出します。



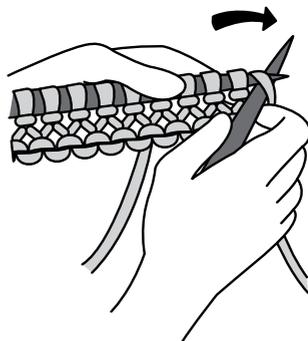
④目を 右針に移します。この手順を繰り返し、すべての目を編んで段を終わります。



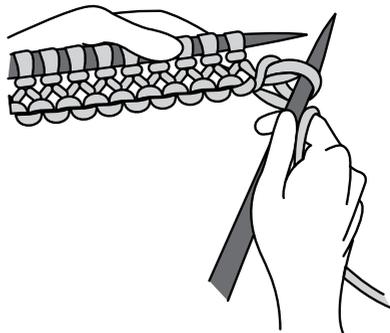
▶ すべり目

1目編まずにすべり目をするという方法があります。すべり目をする簡単な方法は次の通りです。

①表目を編むように右針を目に入れます。



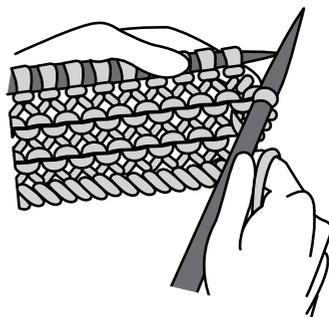
②編まずに右針に移します。



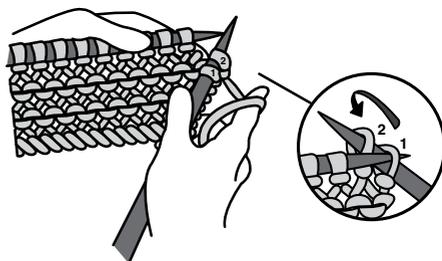
▶ 伏せ止め

編み地を編み終わったら伏せ止めをして編んだ目を針から外します。

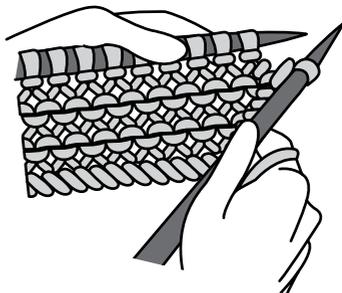
①右針に1目編まずに移します。



②*2目目を表目で編みます。左針の先を使ってイラストのように前の目を2目めにかぶせます。右針には1目残っています。*



③最初の目を伏せ止めしたところです。残りの目を伏せ止めするには必要な目数分で*から*を繰り返します。

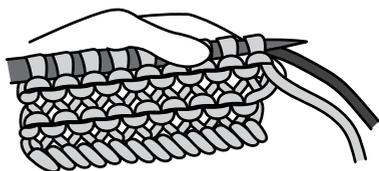


▶ 毛糸玉を変える

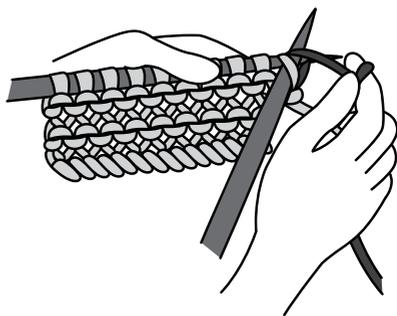
クラシックスタイル

毛糸玉が終わってしまいそうな時や新しい毛糸玉に色を変える時など2つの毛糸玉をつなげるときに使います。

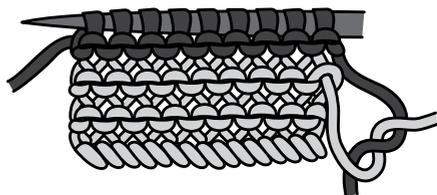
①糸が終わりそうな時は編んでいる段を終えたら、この糸は一旦おいておきます。余った糸はあとで糸始末をするために必要なので余裕を残して段を終えることを覚えていてください。新しい糸を取り、編み地の後ろ側で左手にかけます。



②次の段を新しい糸を使って編みます。



③段を終えたら、2本の糸をつなげて玉止めをします。余った糸はとじ針に通し見えないよう目の間に通します。



フェルティングスタイル

このテクニックは天然100パーセントのウールをつなげる場合に用います。フェルティングはコットンには向いていません。フェルティングスタイルには2通りの方法があります。

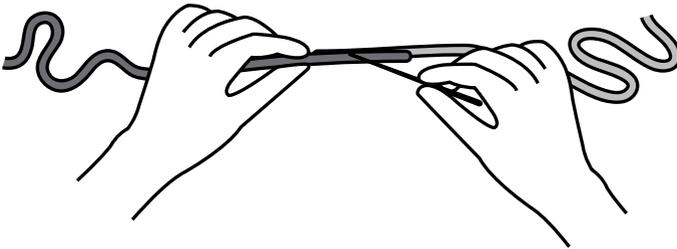
方法A:フェルティングニードルを使う

フェルティングニードルがある場合はとても簡単です。終わりかけの毛糸と新しい毛糸の端を重ねてフェルティングニードルで刺してフェルティングします。

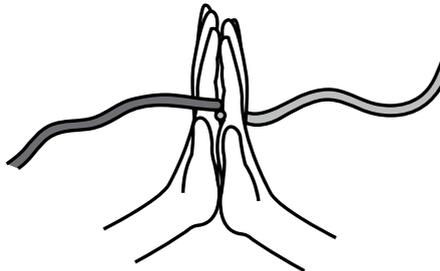
方法B:フェルティングニードルを使わない

フェルティングニードルがない場合は、まずお湯で2本の毛糸の端を濡らし、次に毛糸を手でこすりあわせます。ウール天然100パーセントなので、2本の毛糸は完全につながります。

A



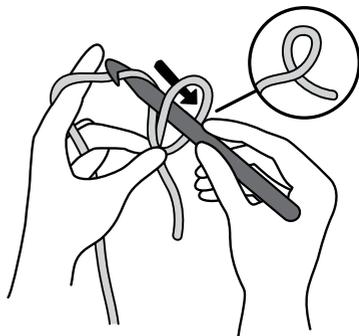
B



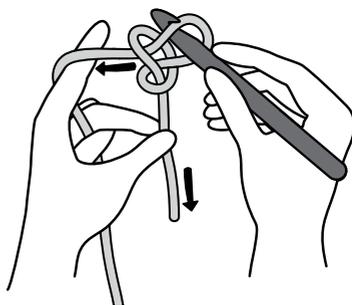
▶ くさり目

くさり目はかぎ針編みの編み目の基本です。どんな作品を編む時でも、まず編み地の幅を作るために必要な数のくさり目を最初に編んでから編み進めます。くさり目は透かし編みをする時も用いることがあり、かぎ針編みで重要な編み方です。

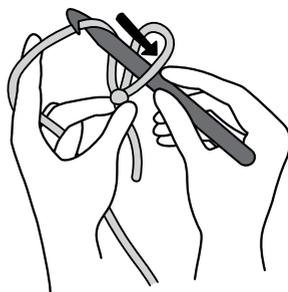
①くさり目を始めるには糸で輪を作り、左手の親指と人差し指で交差を押さえます。輪の中にかぎ針を入れて編み糸玉につながっている方の糸をかけます。



②かけた糸をかぎ針を引いて輪の中から引き出します。糸端を引っぱり輪を引き締めます。編み始めの結び目ができました。



③かぎ針に糸をかけて輪の中から引き出します。最初のくさり目ができました。

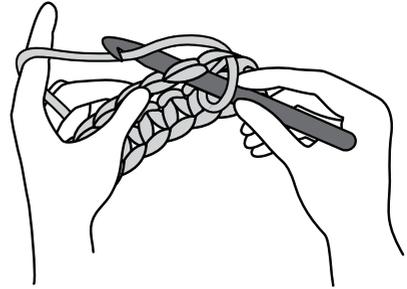


④③を繰り返し、編み方レシピの手順の通りの数のくさり目を作ります。

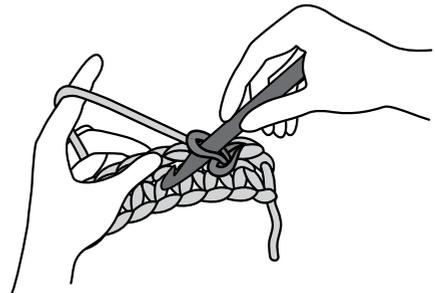
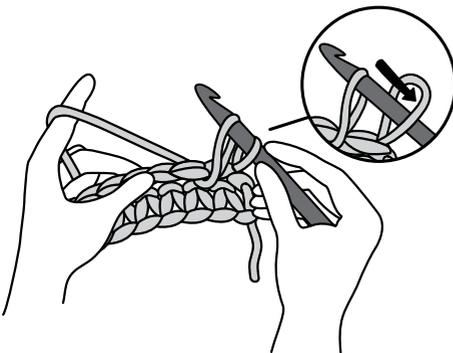
▶ 引き抜き編み

引き抜き編みはかぎ針編みで一番簡単な編み方です。ボリュームが出ない編み方なので編み地の端を編むのに適しています。一般的には円編みの段を終わる時、2枚以上の編み地を接ぎ合わせる時やおしゃれに仕上げたい時に使います。

①編み方レシピの指示の通り目に針を入れて、糸をかけます。



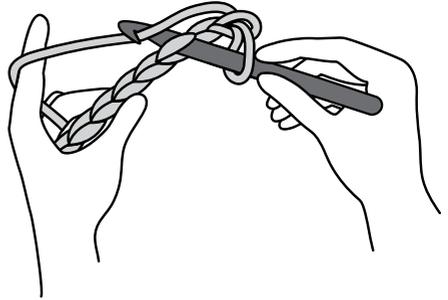
②輪の中を通り、かけた糸を引き抜きます。引き抜き編みが1目できました。



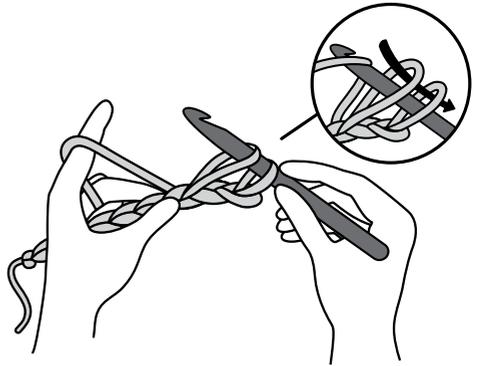
▶ 細編み

細編みはかぎ針編みの基本の編み方で、様々なウェアを編むのに適しています。かぎ針編みの方法で一番高さが低く、細編みで編むとしっかりと目がつまっている印象に仕上がります。

①細編みを始めます。編み方レシピの指示の通り目に針を入れて糸をかけます。(最初の段を編む場合は3つ目のくさり目に針を入れます。)

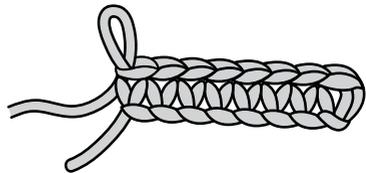


②糸も一緒に針を引き出します。針には2つの輪があります。

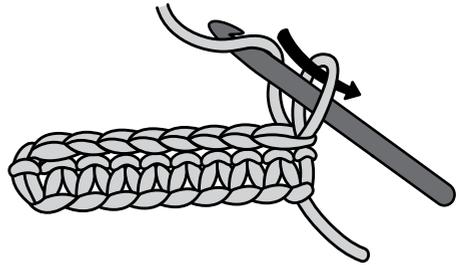


③もう一针に糸をかけて、二つの輪の中を通り引き抜きます。細編みが1編みできました。

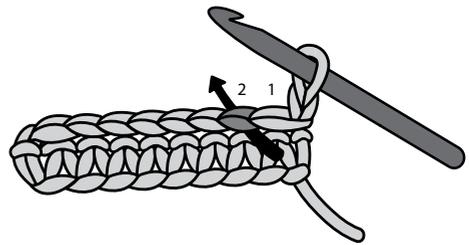
④この手順を繰り返して、必要な分だけの細編みを編みましょう。



⑤かぎ針は上から編んでいくため、新しい段を始める時は編みたい編み目の高さに必要なくさり目を編む必要があります。細編みの段を編み始めるには くさり目1目で立ち目を作ります。



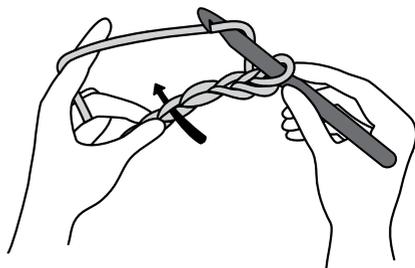
⑥くさり目を1目編んで立ち目と数えるので前の段の2目めから細編みを始めましょう。



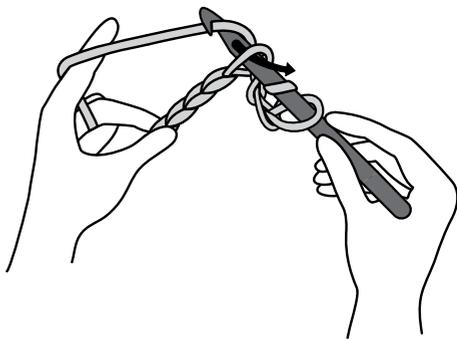
▶ 中長編み

中長編みを編むと細編みと長編みの間の高さがある編み目ができます。

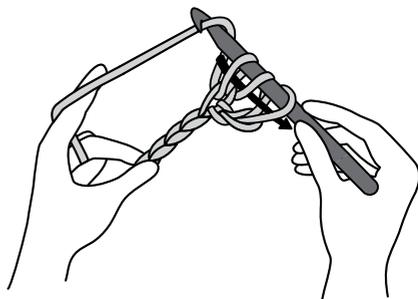
①中長編みを編むには針に糸をかけパターンが指示する下の段の目に針を入れます。(最初の段である場合は4つ目のくさり目に針を入れます。)



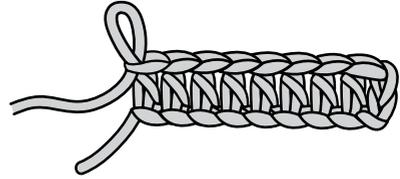
②再度針に糸をかけ引き出すと針に輪が3つできます。



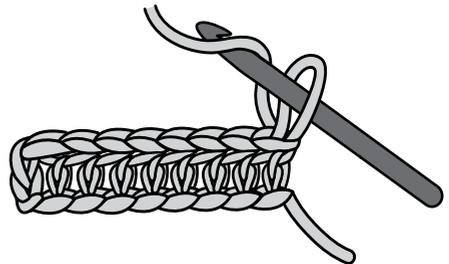
③再度針に糸をかけ全ての輪を引き抜きます。中長編みができました。



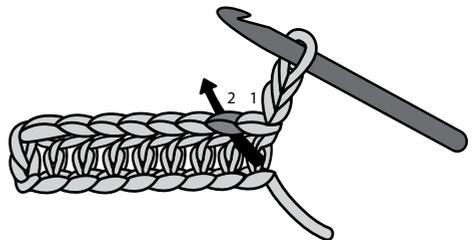
④必要な目数分、この手順を繰り返します。



⑤かぎ針は上から編んでいくため、新しい段を始める時は編みたい編み目の高さに必要なくさり目を編む必要があります。中長編みの段を編み始めるには くさり目2目で立ち目を作ります。



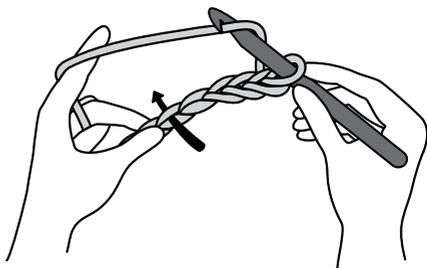
⑥ くさり目を2目編んで立ち目と数えるので前の段の2目から中長編みを始めましょう。



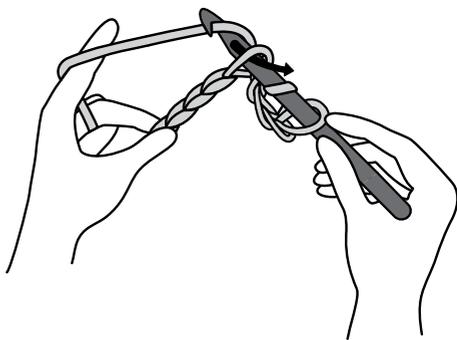
▶ 長編み

長編みは細編みのようにかぎ針編みでよく使われる模様です。長編みは1目の高さが高いため編み目がきれいに仕上がり細編みと比べてより軽い編み地に仕上がります。

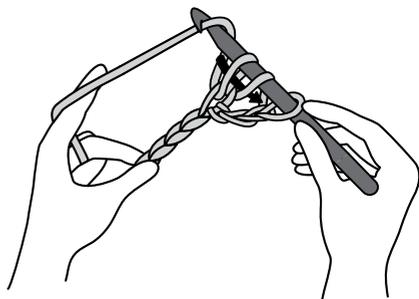
①長編みを編むには針に糸をかけ編み方レシピが指示する下の段の目に針を入れます。(最初の段の最初の目が長編みの場合は、5目めのくさり目に入れます。)



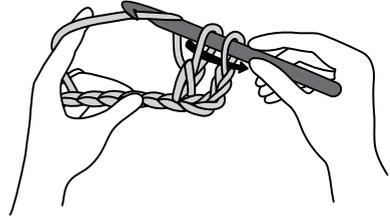
②針に糸をかけて引き出すと針に輪が3つできます。



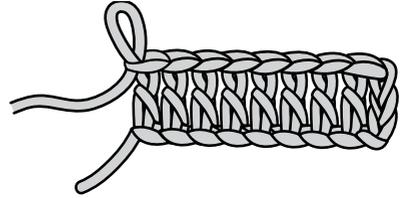
③針に糸をかけ最初の2つの輪を引き抜きます、針には2目残ります。



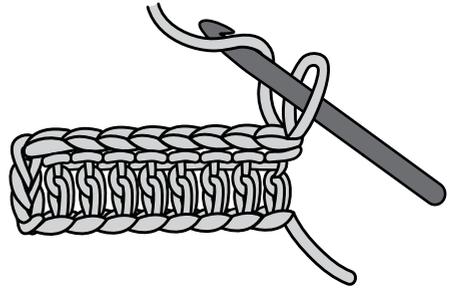
④もう一度針に糸をかけ、残りの輪を引き抜きます。



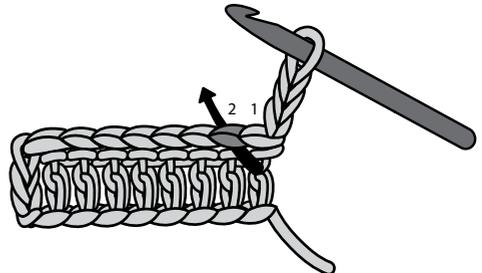
⑤必要な目数分、この手順を繰り返します。



⑥かぎ針は上から編んでいくため、新しい段を始める時は編みたい編み目の高さに必要なくさり目を編む必要があります。長編みの段を編み始めるには くさり目3目で立ち目を作ります。



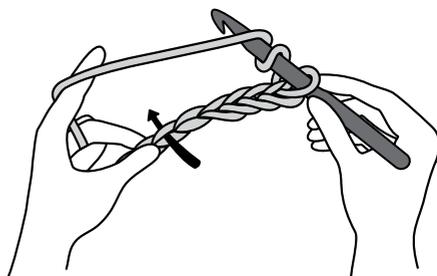
⑦くさり目は最初の長編みとして数えるので下の段の2目めから次の長編みを編んでいきます。



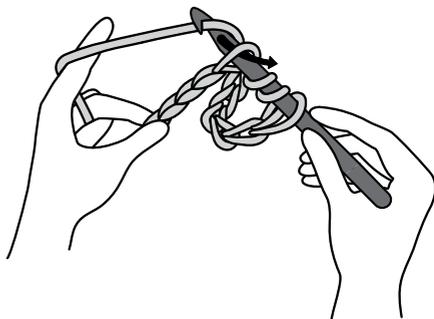
▶ 長々編み

長々編みは長編みより少し高さがある編み目ができます。少しだけ違いはありますが主な編み方は長編みによく似ています。

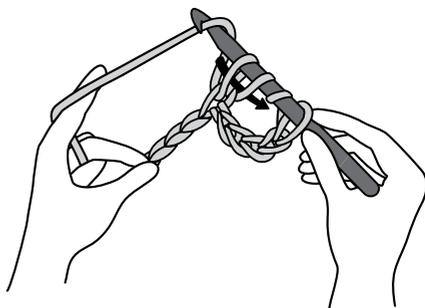
① 長々編みを編むには針に糸を2回かけます。編み方レシピが指示する段の目に針を入れます。れます。(最初の段の最初の目が長々編みの場合は、6目めのくさり目に入れます。)



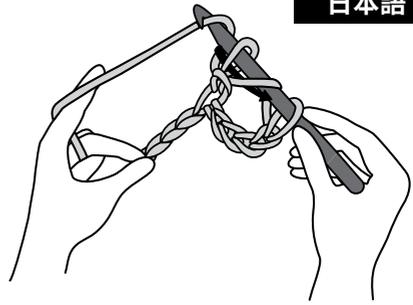
② 再度針に糸をかけます。針を引き出すと輪が4つできます。



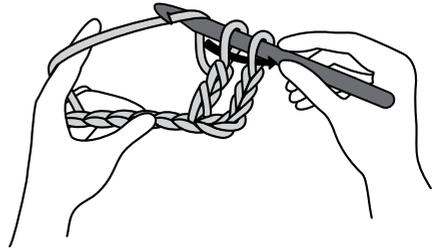
③ 針に糸をかけ2つの輪を引き抜きます。針には輪が3つできます。



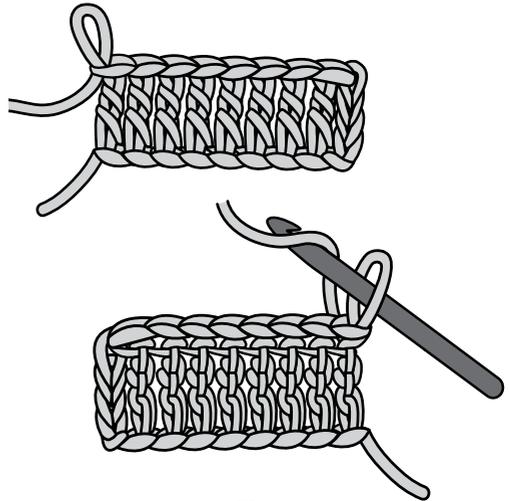
④針に糸をかけ再度針にある2つの輪を引き抜きます。針には2針残っています。



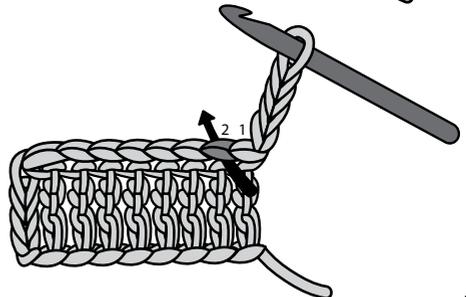
⑤もう一度針に糸をかけて残りの輪を引き抜きます。



⑥かぎ針は上から編んでいくため、新しい段を始める時は編みたい編み目の高さに必要なくさり目を編む必要があります。長編みの段を編み始めるには くさり目4目で立ち目を作ります。



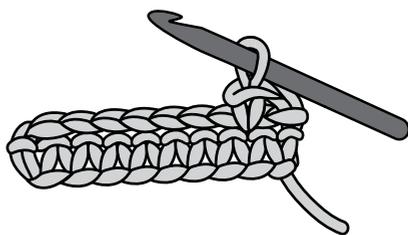
⑦くさり目は最初の長々編みとして数えるので下の段の2目めから長々編みを編んでいきます。



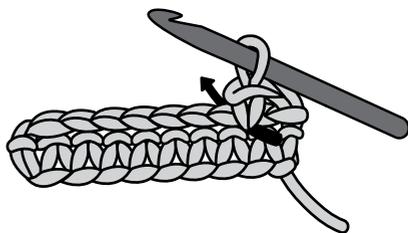
▶ 1目増し目

増し目は編み地の幅を長くするときや他の編み目と合わせて模様を作るときに用います。増しし目はセーターの袖、グラニースティッチやあみぐるみを編むときも便利です。細編み、長編み、長々編みとどんな編み目でも増し目をすることができます。かぎ針の増し目は簡単な編み方で同じ目に2度編むことで増し目をするすることができます。ここでは細編みの増し目を見てみましょう。

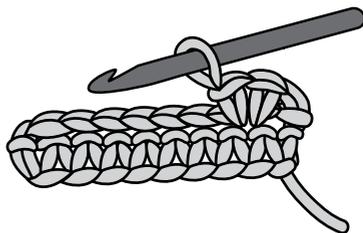
①編み方レシピの手順の通りに細編みで編みます。細編みがわからない場合はこのガイドの「細編み」という部分を参考にしてください。



② さっき編んだ同じ目にもう一つ細編みを編みます。



③今編んでいる2段目は前の段より一目、編み目が多い状態になります。

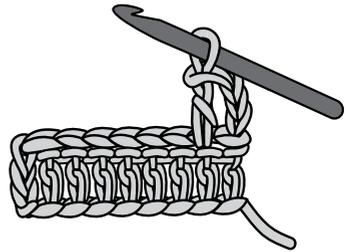


④増し目が終わったら、編み方レシピの手順通り編み進めます。

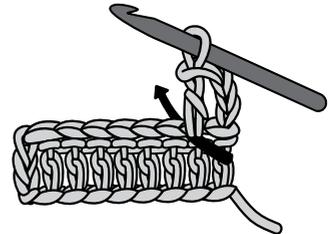
▶ 2目増し目

2目増し目も1目増し目とさほど変わらないですが 同じ目に2目編むのではなく 同じ目に3目編みます。前の段より2目増えた状態になります。グラニースティッチを編む時や、扇子のような広がる模様を編むときに用います。どの編み目でも2目増し目を行うことができます。ここでは長編みの2目増し目を見てみましょう。

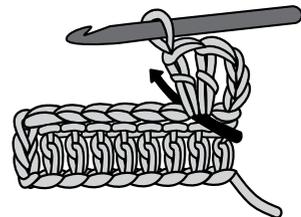
①編み方レシピの手順通り1目長編みを編みます。長編みの編み方がわからない場合は、このガイドの長編みの部分をご覧ください。



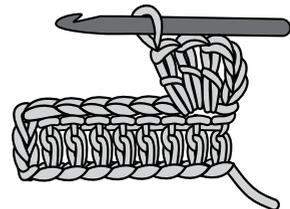
② さっき編んだ同じ目にもう一つ長編みを編みます。



③ 同じ目にもう1つ長編みを編みます。



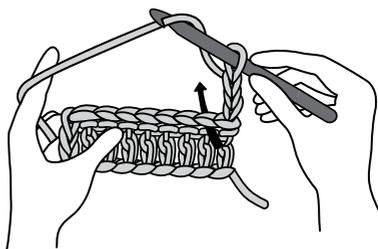
④1つの目から3目長編みが編まれています。2目増し目が終わったら、編み方レシピの続きを編んでください。



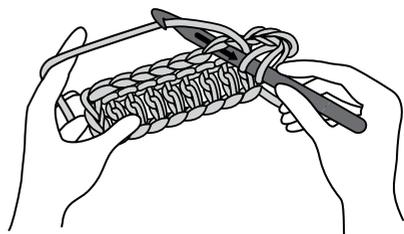
▶ 減らし目

減らし目は編み地の幅を狭くするときや袖付け、襟を編むとき用います。減らし目は2目一緒に閉じて編むことでできるのですが、細編み、中長編み、長編みとどんな編み目でも減らすことができます。ここでは長編みの減らし目を見てみましょう。

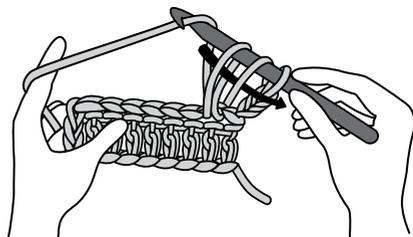
①最初の目に1目長編みします。針に糸をかけ最初の目に針を入れます。



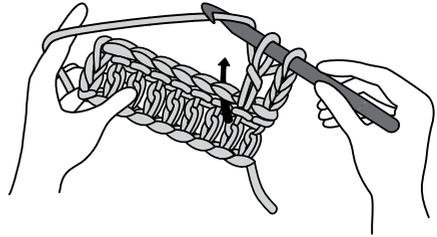
②針に糸をかけ引き出します。針には輪が3つできます。



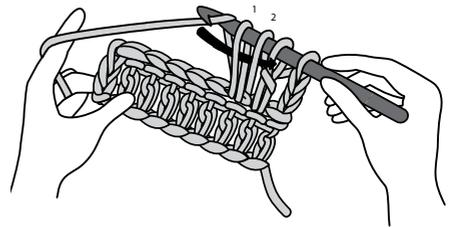
③もう一度針に糸をかけ2つの輪を引き抜きます。針には2つの輪が残ります。この目を終わらせずに次の目を編み始めます。



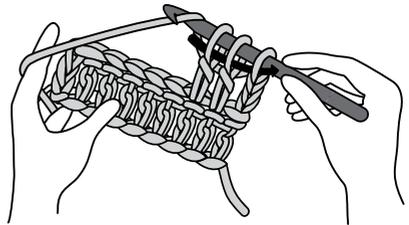
④針に糸をかけ次の目に針を入れます。



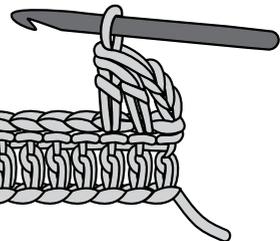
⑤針に糸をかけ引き出します。針には輪が4つできます。



⑥針に糸をかけ、はじめの2つの輪を引き抜きます。針には輪が3つ残ります。



⑦針に糸をかけ残りの輪を引き抜きます。2目が一緒になり、減らし目ができました。



⑧減らし目はどんな編み目でも可能です。まず最初の目はそのままに、最後の2目は一緒に閉じて編むことで減らし目ができます。

we are knitters

ALL THE HAPPINESS IN A KIT

Follow @weareknitters



weareknitters.jp